

# 日本音楽集団第103回定期演奏会

バリオ・ホール

1988年4月25日(月)

主催 日本音楽集団・現代邦楽協議会

## 一、 冥 煌 三味線三重奏曲

秋岸 寛久 作曲

細 棹 = 太田 幸子  
 中 棹 = 工藤 哲子  
 太 棹 = 田中悠美子

この作品は、昨年6月、集団のサロン・コンサートで、本日と同じメンバーによって初演されているが、今回一部に加筆し、改訂初演ということになる。3種の三味線は、それぞれに魅力ある個性的な音色を持っており、その対比と協調がこの曲のテーマとなっている。題名の「冥」は、奥深いという意味。「煌」は、きらきら輝くという意味で、それぞれ1章と2章のイメージに対応している。(秋岸寛久)

二、 粉ひき池の空に雲 (委嘱・初演) ジェームス・R.カドワッラー作曲  
 Clouds and Sky Over Miller's Pond Comp. by James R. Cowdery

笛 I = 藤崎 重康 II = 竹井 誠  
 尺 八 I = 三橋 貴風 II = 米澤 浩  
 III = 素川 欣也 IV = 水川 寿也

作者は、作曲家以外にアイルランドの笛、リコーダー、マンドリンなどの演奏家としても活躍し、現在、コネチカット州及びニューヨーク州で世界音楽の講師を勤める。

曲について——作曲者より演奏者へのことば

アンサンブルできる本曲を作ることを目的とし、伝統的な音と技術を基にして演奏者がお互いに作用(びっくりさせたり、喜ばせたり)しあえる場を作りました。演奏するたびに違った花が咲くように、新しい気持ちで実験を重ねてください。(James R. Cowdery)

## 三、 カシオペア 21

三木 稔 作曲

短二十絃箏 = 滝田美智子  
 二十絃箏 = 木村 玲子  
 主奏二十絃箏 = 吉村 七重  
 二十絃箏 = 内藤洋子  
 低音二十絃箏 = 宮越 圭子

天の北極に近く、銀河に浮かぶカシオペア座は、5つの星がW形に並び北極星を見出す目印ともなる。この曲は、上演形態として星座をヒントにしたが、曲の内容にも星群のイメージがあるかもしれない。

ゆっくりした前半は光降る星への抒情、律動的な後半はエネルギーに満ちた星の内部活動へのオマージュである。また中央の主奏二十絃箏と他の4面との小協奏曲風な趣もある。星にちなんで、旋法的にはややグローバルな選択を行った。(初演7°プログラムより 三木稔)

#### 四、 仲秋詩抄

牧野由多可 作曲

尺 八=素川 欣也  
琵琶=半田 淳子  
十七絃=内藤 洋子

琵琶という楽器が絃楽器の中でも極めて説得力の強い表現力を持った楽器であることは今さらいうまでもない。この一つの楽器から秋の竹林のしずけさや、藤の葉ずれのかそけきひびき、一滴の清水のしたたりから、嵐のような大波に至るまで自由自在に、しかも幅広く表現できる楽器は、そうざらにあるものではない。曲は、秋の清澄、寂漠にはじまり、それがやがて大きな炎の波となって燃え上る饗げの一つときとなり、野が叫び、吹きぬける風……。やがて静寂がしのびより、単純な終結、遠ざかりゆくかりそめの想い。これは、秋の竹林によせる一篇の幻想曲である。（牧野由多可）

#### 五、 幽寂の舞

新実 徳英 作曲

尺 八=三橋 貴風  
胡 弓=畦地 慶司  
三 絃=養田 司郎  
箏 I =吉村 七重 II =滝田美智子 III =安武由香理  
十七絃=内藤 洋子

この曲は発想を多分に能に負っている。能そのもの、そして能の音世界の持つ形態、様式、またアンサンブルの在り方、これらに触発されて得た楽案が少なからずある。だからといって能の音楽を私の選んだこの編成の室内楽に翻案しようとするものでは全くない。第一そんなことは不可能である。

さて、能の音楽では全体を支配する基本的なルールの了解のもとに、お互いが十二分に自発性を発揮しつつ音空間が構築されていく。こういったアンサンブル形態は西洋音楽で育った私のような人間にはとても不思議で興味深い。

曲は次第に展開していく三部構成となっている。「苦悩を克服しより高く昇華された精神を表象するかのとき幽寂かつ典雅極まりない架空の舞、のための音楽」がこの曲のタイトルの正確な意味である。我々の耳に懐かしい古くからある音階（旋法）を使って新しい音楽を作ること今回試みたことの一つだ。悠々の時の流れに身を任せ、まずはごゆるりとこの音楽を、音空間を楽しんで下さいますよう作曲者は願っております。

（初演7°プログラムより、新実 徳英）

## フレッシュコンサート

不倒 柁屋 正邦作曲

琵琶独奏=坂田 美子

第96回の定期演奏会から若い奏者の発表の場として行われてきたフレッシュコンサート、今回は琵琶奏者坂田美子の登場です。彼女は半田淳子に師事し、NHK邦楽技能者育成会第29期を卒業、鬼太鼓座のヨーロッパ公演や本団の第13次海外公演にも自主参加するなど意欲的に活動しています。

「不倒」は人生における苦しみや悲しみにも決して倒れないという意味です。がんばりやの彼女にぴったりという感もあり、将来が大変期待されています。

# 箏

## 二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏



オリジナル立奏台

日本音楽集団推薦

# 琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL (792)8481